

ベトナムと中国文化：道教系宗教文化の受容と展開

カオダイ教における道教の影響とその変化

10月18日（土）

於：慶應義塾大学 言語文化研究所

北澤直宏（東洋大学）

1

カオダイ教（高台教）とは

- 1926年、ベトナム南部で設立。信徒数は統計では55万人で国内4位（2019）。
- 東西諸宗教の融合を唱え、その頂点に立つのがカオダイ教。降霊術を通して得られる神託を絶対視。
- 本山は聖地であると同時に観光地化しており、政府からも「ベトナム独自の宗教」として称えられる。

タイニン派本山本殿



2

カオダイ教の概要①：教理

- カオダイ教の正式名称は、大道三期普度。その意味は、人類救済のために生まれた、究極かつ最後の宗教。

(一期：バラモン教・ユダヤ教、二期：仏教・キリスト教・イスラーム、三期：カオダイ教)

- 最終目標は、世俗における平等・幸福な社会の建設と、精神面における解脱。そのために必要とされるのが…
 - ・ 儒教・仏教・道教が一致する「三教歸一」の実現
 - ・ 世界各地に存在している「道」を統合する「五支復一」

3

カオダイ教の概要②：内紛と分裂の歴史

- 20世紀初頭、当時流行していた降霊術サークルが複数合流して立教。

(世俗での異なる立場、降霊術の方法も複数)

- その中心にいたのは、植民地の役人・資産家・宗教家。
- 異なる背景を持つ者らの集合体であったことから、教団設立後も内部には複数の派閥が残り、間もなく分裂。

4

様々なカオダイ教

- ・最初にカオダイと出会った下級官吏→チエウミン派
- ・上に合流した下級官吏ら→タイニン派（本発表）
- ・宗教裁判を経て分離独立→チョンリー派
- ・政府高官ら→バンチンダオ派
- ・明師道の師とその弟子たち→ミンチョンダオ派

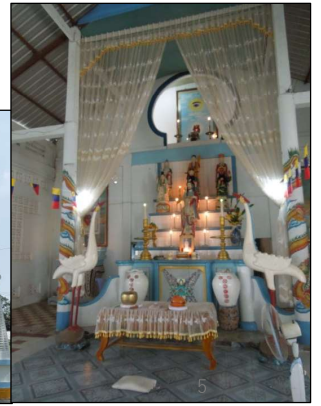
バンチンダオ派



伝教派



バックイー派



明師道の影響：チャン・ダオ・クアン (Trần Đạo Quang, 1870-1946)

- ・両親の影響から、幼少期から明師道に進む。10代から菜食をはじめ、やがて大老師として寺の住職を務める。
- ・1925年、信徒らとともにカオダイ教に転向。1931年に離脱し、1935年にミンチョンダオ派を立ち上げる。
- ・実際、カオダイ教には降霊術（後述）・経典・信仰・規範などに、中国・清代民衆宗教（特に明師道）の影響が残る。

[高津2010、武内2021]

道教の影響か：菜食や位階システム

- 信徒らは、（月10日もしくは恒常的な）菜食を重視。
- 香りの強い野菜や煙草の制限はなし。飲酒は一応禁止だが、実際はOK。
- ニラなども「仏教ではタブーだが、道教では異なる」との解釈。

Bước Đầu Học Đạo（『カオダイ教入門』）より

カオダイ教における位階

		定員
不在	教宗	1
	掌法	3
	頭師	3
本山	配師	36
	教師	72
	教友	3000
教区	礼生	無制限
	准聖職者	
	一般信徒	

カオダイ教タイニン派

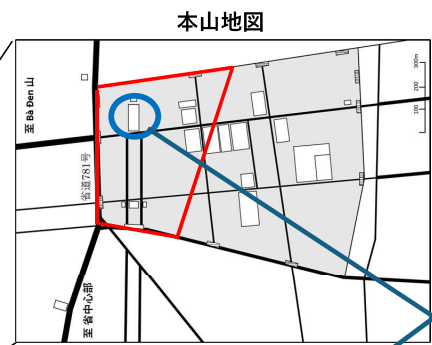
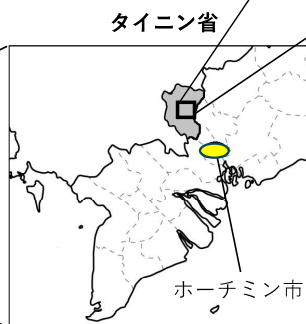
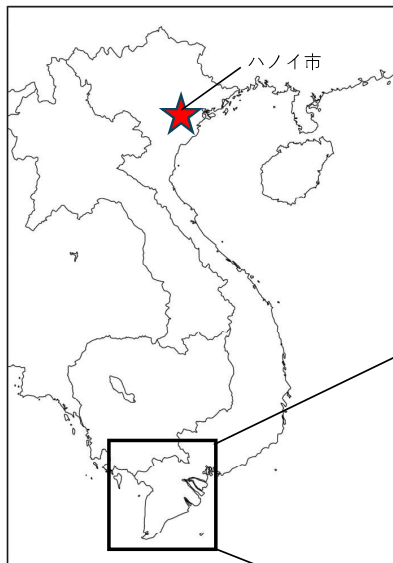
- 内紛の末、1930年代に弱体化。しかし信者に職位を与えると同時に労働奉仕を推奨することで、再拡大。
- 第二次大戦後には独自の宗教国家を運営し、1960年代からは国会議員を輩出するなど政治力を得る。
- 1976年の社会主義化に伴い制限されるも、1990年代からは宗教活動を再開させている。

1940年代後半には軍隊も



[Gobron 1949 : 37]

タイニン省ホアタイン市 に宗教都市を形成



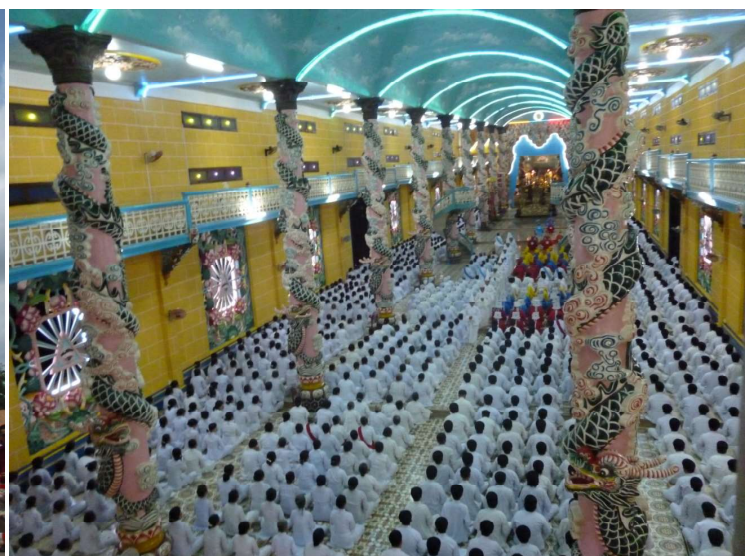
<https://vnexpress.net/toa-thanh-lon-nhat-cua-dao-cao-dai-nhin-tu-tren-cao-3828039.html>

カオダイ教本殿

本殿：外観



本殿：内観



国内に407教区 (2019)



ダラット (2010)

フエ (2012)



ホーチミン市 (2022)



各地にあるカオダイ教寺院



末寺の祭壇



最高神：玉皇上帝

- 正式名称は、高台（カオダイ）仙翁大菩薩摩訶薩。多くの場合「至尊」あるいは「上帝」と呼ばれる。
= 玉皇上帝と理解されている。
- それを象徴するのは、「天眼」と呼ばれる左目。その理由は、「目は全てを見通し、一は最初の数であり、左目は陰陽の陽だから」。〔Cao Đài Tự Điển『カオダイ辞典』：Thiên Nhânより〕

13

カオダイ教の世界観①：神霊の祀られ方

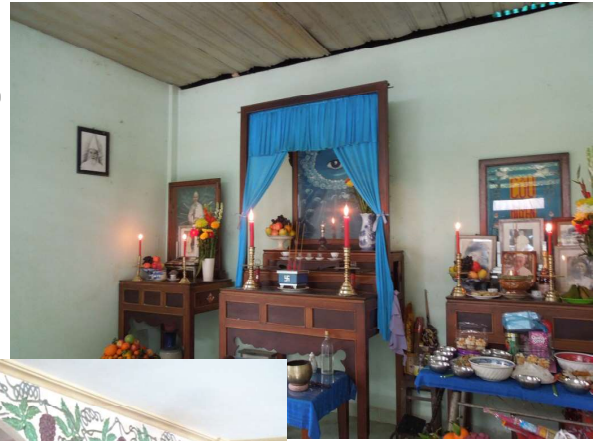
本山本殿



- 老子・釈迦・孔子→儒仏道
- 観音・李白・関帝
→現世での救済を担当
→なぜ李白？
- イエス→キリスト教。
- 呂尚（太公望）→なぜ？

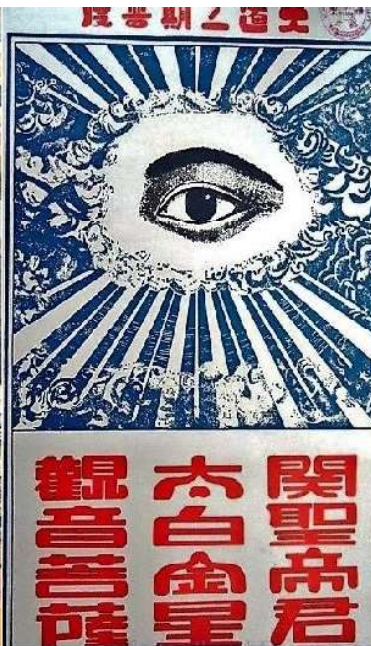
14

信者宅における祭壇（天盤）



15

カオダイ教の世界観②：聖像（祭壇で祀られている絵） 左から1代目・2代目・3代目



16

なぜ祀られているのか？

李白

- 理念上は、教団における精神の最高指導者。八柱の中で最も重要。
 - 教団内での理解は、「放浪の生涯で、多くの詩を詠んだ」。
- [Cao Đài Tự Điển 『カオダイ辞典』：Lý Thái Bạchより]

呂尚

- 教団での扱いは「元始天尊の弟子で、封神のため人間界に遣わされた」。
- [Cao Đài Tự Điển 『カオダイ辞典』：Khương Thượng Từ Nhaより]
- 『封神演義』の描写そのもの。

→中国文学上の理解がそのまま採用されている。明師道においてもこの傾向があるのか。それとも教団創設者に愛好家がいたのか。¹⁷

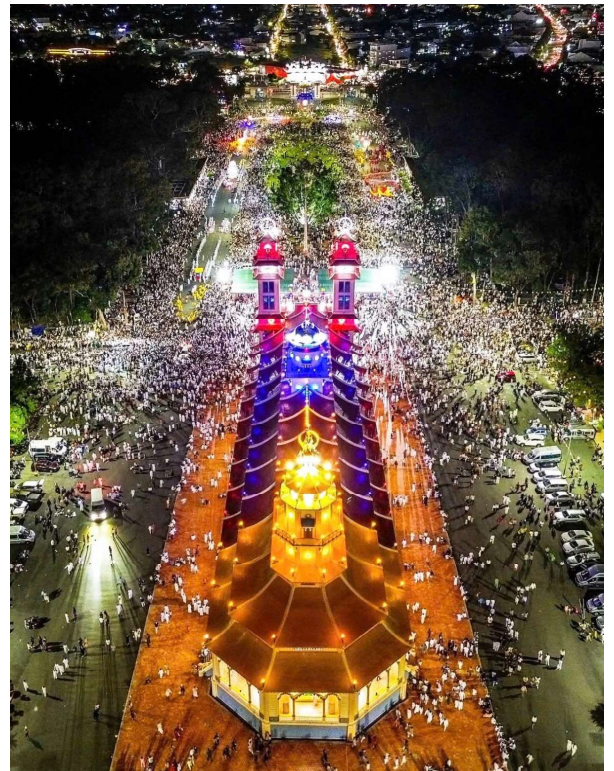
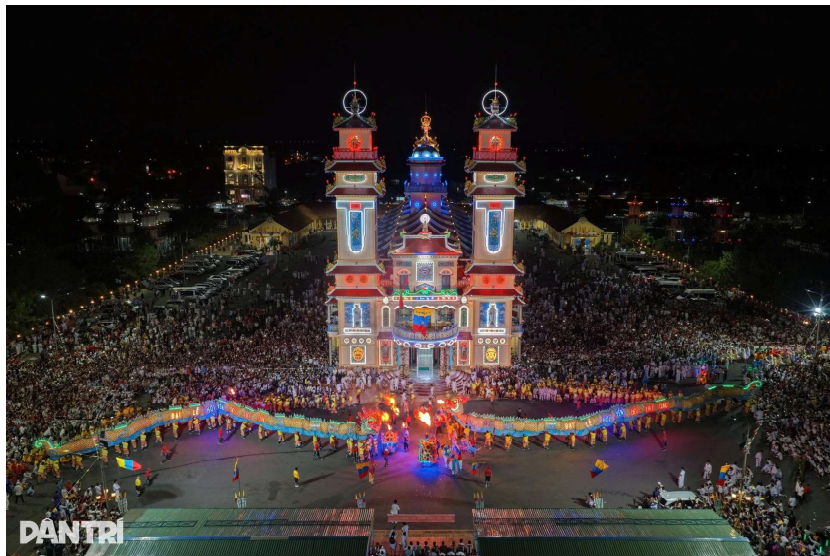
祭礼の様子

女性神：仏母（Phật Mẫu）

- 玉皇上帝の対である仏母（＝瑤池金母）と、それを支える九位仙娘（Cửu vị Tiên Nương）も重視されている。
- カオダイ教最大の祭礼は、仏母を称える旧暦8月15日。



Dân Trí新聞オンライン・VN Expressオンラインより、2025年10月6日の様子



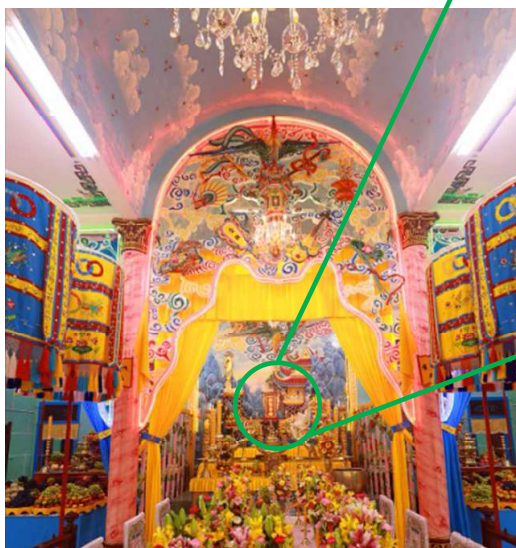
<https://vnexpress.net/bien-nguoi-du-dai-le-100-nam-cua-dao-cao-dai-4948038.html>

19

<https://dantri.com.vn/du-lich/tay-ninh-ruc-sang-dem-dai-le-hoi-yen-dieu-tri-cung-2025-20251007090042043.htm>

仏母の祀られ方

本山内：



<https://travelsig.vn/e-magazine/dai-le-hoi-yen-dieu-tri-cung-2024>

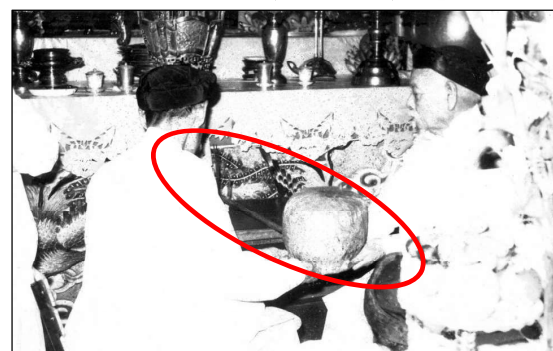
カオダイ教の降霊術

- カオダイ教では、降霊術を得られる神託が極めて重要。
- 当初は複数の降霊方法が存在するも、間もなく中国系のト占（フーチー、扶乩）が主流に。
→初期の特徴については高津（2020）の分析。
- 1976年、政府により禁止されるまで約半世紀にわたり続けられる。

降霊術用テーブル



扶乩を行う教団幹部（年代不詳） [個人所蔵]



事例①：1927/3/2の神託

李白による、布教に向けた決意（抜粋）

- Chư đạo hữu, lúc này đã đến buổi người hành khách phải trải qua một lối chông gai.
(信徒たちよ、困難を乗り越える時が来た。)
- Muốn bước khỏi, cần phải có bèn chí tận tâm, và phải gắng xem Đạo đức là trọng hơn muôn việc vui thích ở cõi ràn này.
(踏み出すには、忍耐と献身が必要であり、この世の楽しみよりも道德が重要であると認識しなければならない。)

事例②： 1926/12/13の神託 李白による七言絶句（抜粋）

Niên cao chưa đủ trí phen đời,（齢高くして知恵は至らず）
Nường đỡ nhà tan ngó biển khơi.（崩れた家にもたれて、沖を眺める）
Ý quyết non sông lo lập nghiệp,（国を憂えて立ち上がらん）？
Thương thay chưa buổi đặng nường thời.（残念ながら、まだその時ではない）

Xanh xanh nào có phụ người hiền,（神霊たちは善良な者を助け）
Đã thấy trọn quyền Đấng Chí Thiên.（全ては天の導きと知る）
Lo hiệp nghĩa hơn đồng loại giúp,（仲間と協力し助け合い）
Đừng ham quyền thế một mình riêng.（一人で力を独占すべからず）

Đạo Sĩ（『カオダイ教史』）より 23

1934年2月から9月にかけて降臨した実在の外国人と、その内容

降臨日	人名	神託の内容
2月23日	ユーゴー	植民地政府に対し、カオダイ教の力を見せつけるべきと鼓舞。
2月25日	ユーゴー	人類救済のため、カオダイ教他派と協力すべしと指示。
2月25日	レーニン	共産主義は、カオダイ教と同じく仏教に起源を有している。やがてフランスは、より大きな力に屈する。
3月13日	孫文	龍にまたがるとしたら、どの部位にするのが良いのか。
4月15日	ユーゴー	教団内に生じている内紛を指摘。カオダイの教えを広めなければならない。
7月1日	東郷平八郎	アジアの国々は、カオダイ教徒の支援を必要としている。
7月16日	ユーゴー	（新しいインドシナ総督である）ロビンの就任に伴い、安寧が訪れる。ローマはドイツの影響下にあり、フランスはキリスト教の支援を得られない。
8月8日	ユーゴー	（前インドシナ総督である）パスキエのように、神霊に反した者は罰せられなければならない。
8月18日	パスキエ	生前、カオダイ教を破壊しようとしたことを後悔。
8月25日	ラ・フォンテーヌ	ユーゴーの死者として降臨し、聖職者叙任について通達。
8月29日	ブリアン	自分は世界に平和をもたらすことが出来なかった。カオダイ教に期待する。
9月11日	ドゥメール	生前、カオダイ教を承認しなかった事を後悔。
9月22日	ジャンヌ・ダルク	カオダイ教が男女平等を実現している旨を賞賛。

Đạo Sĩ（『カオダイ教史』）より²⁴

神託集に見える傾向

- 教団発行の神託集『聖言合選（*Thánh Ngôn Hiệp Tuyển*）』の神託176編と、信者有志がまとめた『聖言収蔵（*Thánh Ngôn Sưu Tập*）』の神託408編。
- この584編には約60の神霊が登場。しかしその半数は1－2回登場するのみ。
- 1回の降霊会で複数の神霊が降臨することも多数あるため、登場回数の総数は584を超える。

25

神託集に多く登場する神霊上位12柱

※赤字は教団関係者

	神霊名	1925-1934	1935-1944	1945-1954	1955-1964	1965-1976	登場回数合計
1	玉皇上帝	213	5	6	3	1	228
2	李白	51	6	16	12	10	95
3	カオ・クイン・クー	5	13	28	18	0	64
4	ホーデー	6	13	20	16	0	55
5	ファム・コン・タック	0	0	0	9	35	44
6	レ・ヴァン・チュン	0	16	12	9	1	38
7	瑤池金母	9	4	10	1	3	27
8	グエン・ビン・キエム	1	5	6	5	0	17
8	ヴォン・ティー・レー	6	4	5	1	1	17
10	ファム・ヴァン・マン	0	11	3	0	0	14
11	ジャンヌ・ダルク	4	2	5	2	0	13
12	ビクトル・ユーゴー	1	5	4	2	0	12

26

神託佳に多く登場する神霊上位12柱

上帝の降臨回数が突出して多いが、黎明期に集中。年代を問わないのは李白。

※赤字は教団関係者

			1935-1944	1945-1954	1955-1964	1965-1976	登場回数合計
1	玉皇上帝	213	5	6	3	1	228
2	李白	51	6	16	12	10	95
3	カオ・クイン・クー	5	13	28	18	0	64
4	ホーデー	6	13	20	16	0	55
5	ファム・コン・タック	0	0	0	9	35	44
6	レ・ヴァン・チュン	0	16	12	9	1	38
7	瑤池金母	9	4	10	1	3	27
8	グエン・ビン・キエム	1	5	6	5	0	17
8	ヴオン・ティー・レー	6	4	5	1	1	17
10	ファム・ヴァン・マン	0	11	3			14
11	ジャンヌ・ダルク		2	5			7
12	ビクト	1930年代に入ってから、教団関係者の降臨が増え始める。	5	4			9

1960年代以降は彼の独壇場となり、多様性は薄れていく。

27

降臨していた教団関係者①



本殿外観

カオ・クイン・クー
(Cao Quỳnh Cư, 1888-1929)

- 本山建設に尽力。
- 内紛から追い出され、そのまま死去。



本殿内部

レ・ヴァン・チュン
(Lê Văn Trung, 1876-1934)

- 植民地政府で働いた後、コーチシナ評議会議員を務める。
- 1920年代に入って経済的・身体的に不調。
- 世俗での立場も影響し、生前はカオダイ教における最高指導者。

ファム・コン・タック
(Phạm Công Tắc, 1890-1959)

- チュン死後に全権を掌握。分裂を招くも、タイニン派内では神格化される。
- ジェム大統領と対立しカンボジアに亡命。
- 1960年代半ば以降、教団内での復権が進む。

28

降臨していた教団関係者②

- しばしば降臨し、教団創始者たちに智慧や秘術を授けたとされる9人の仙女（1女～9女）。
 - ・ 6女（降臨13回）ジャンヌ・ダルク
 - ・ 7女（降臨17回）ヴオン・ティー・レー（Vương Thị Lễ, 1900-1918）：教団創設者の姪
 - ・ 8女（降臨55回）ホーデー：徴姉妹とともに戦った将軍
- ファム・ヴァン・マン（Phạm Văn Màng, 1888-1933）：
教団幹部タックの腹心。

29

降臨回数に見る、大まかな傾向

- 玉皇上帝を筆頭に、道教を中心とする多様性が見えるのは1950年代まで。
- 1930年代半ば以降は、教団関係者の降臨が増え始める。特に、クーとチュンは1950年代後半までの中核に。
- 1959年に死去したタックは、1960年代半ばから急増。

30

降臨する神霊の特徴

- グループ①：長年にわたり複数回降臨し、教団を形成してきた神霊。（玉皇上帝、瑤池金母、李白）
- グループ②：多様性を象徴するも、組織運営には影響を与えていない神霊。（聖ペトロ、齊天大聖、レーニン）
- グループ③：教団に縁のある人物。1960年代以降は、降臨回数としても影響力としても主流に。

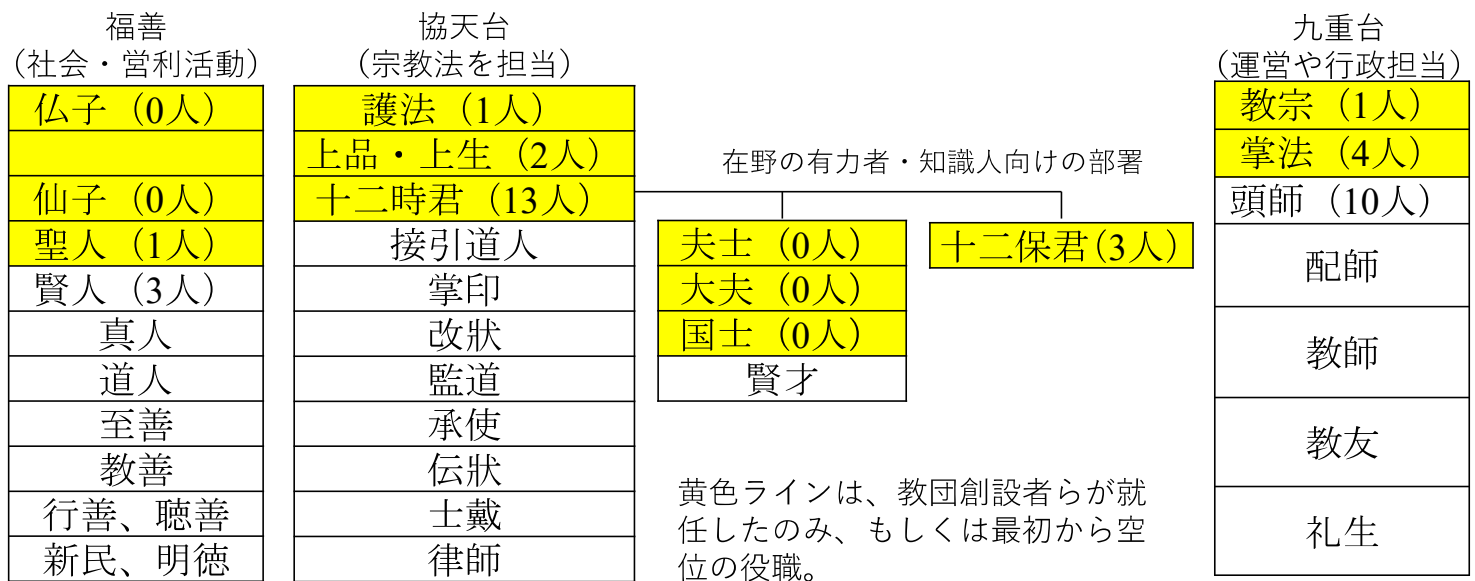
31

神託と人事

- 神託集に収録されていないものも多いが、おそらくその大半は人事。
→教団人事の多くは、李白（Đức Lý Giáo Tông）かタック（Đức Phạm Hộ Pháp）の名で決定されている。
- 神託が廃止される1976年まで、全ての教団人事は神に伺いを立てる必要があり、また神意次第では抜擢・左遷・追放もあり得た。

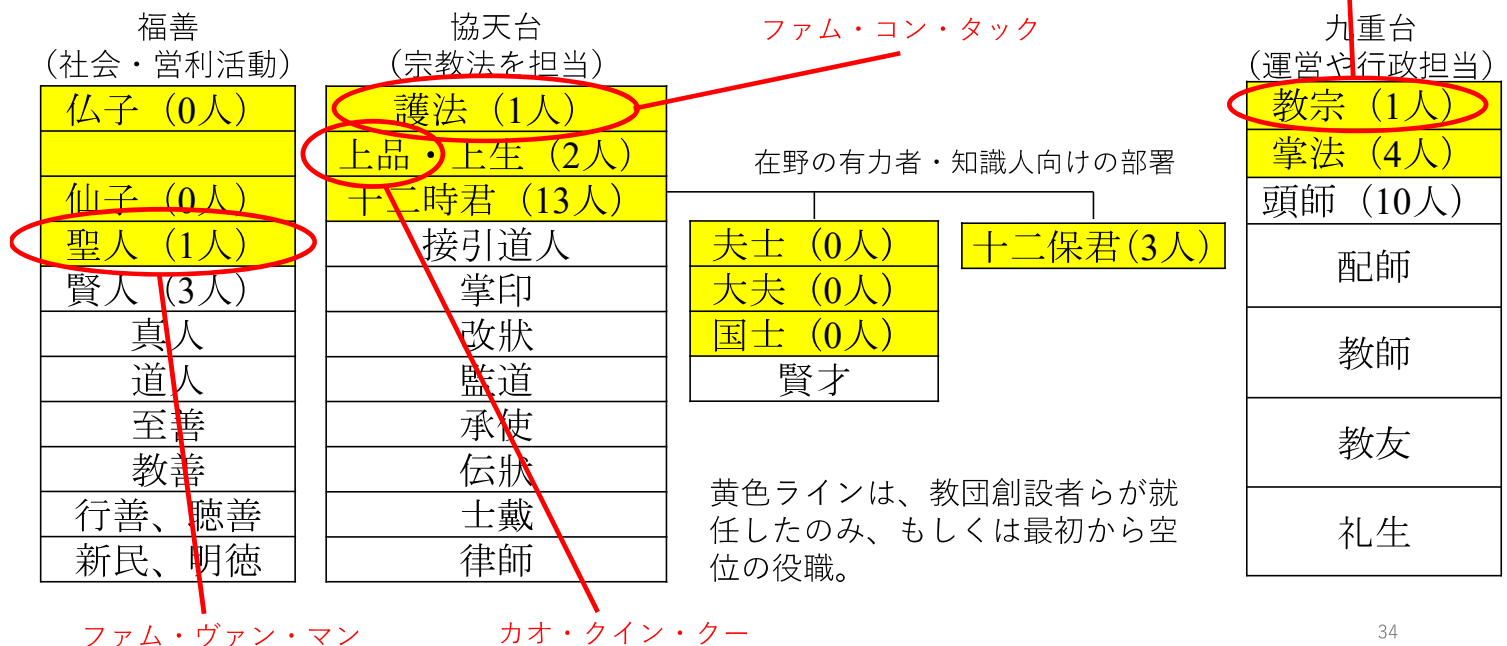
32

教団組織と位階、歴代の就任者数



33

教団組織と位階、歴代の就任者数



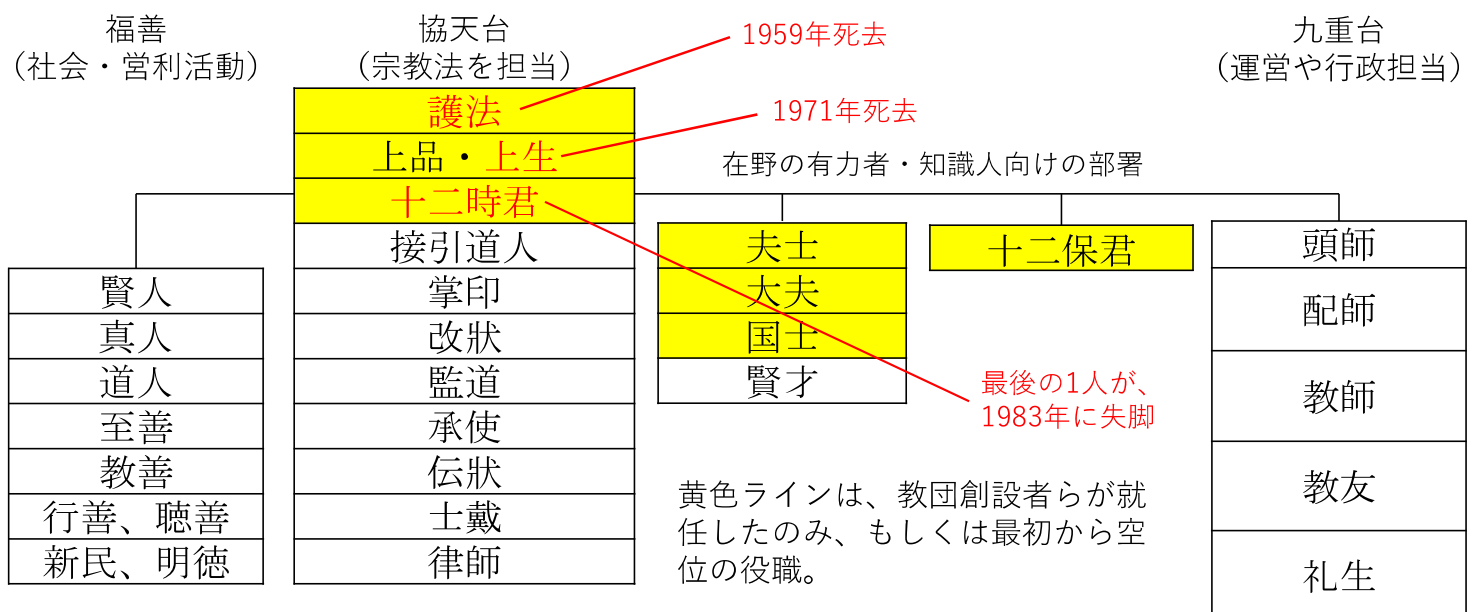
34

教団におけるポストの重要性

- 最初期、教団創設者たちが重要なポストを独占し、その後現在に至るまで後任は不在。
- 創設者たちのポストは不可侵。最初期の序列が入れ替わることはなく、彼らが自分より上に他者を抜擢したこともない。
- 組織運営に必要なポストだったのではなく、創ること自体に意味があった。（宗教的な救済か、官僚制への憧れか）

35

1976年までのカオダイ教権力構造



36

実際の信仰：顕著な個人崇拜

本山本殿内：ファム・コン・タック事務所



1950年頃の本山本殿（個人所蔵）



37

カオダイ教という現地化

- 今も道教要素が色濃く残るが、全体としては現地化（カオダイ化）が顕著。その背景として考えられるのは…
 - ・ タイニン派に残った創設者たちは、特定の宗教を体系的には学んでいない。そのため、自分たちで何かを創り出す必要があった。
 - ・ 宗教的な関心は徐々に道教から離れ、死去した教団幹部を神格化するように。それを成り立たせたのは、神託の絶対性。
 - ・ 一般信徒も、世界情勢や古典文学の知識よりも上記の傾向を好んだ可能性。

38

何が、信者を惹き付けたのか？

- 植民地・戦争という混乱期における、相互扶助。
- 菜食（＋読経）以外、特別な修行や知識は求められない位階制。世俗での生活を維持しながら、ポストを得て特別な宗教衣をまとえる。
- 本山周辺では、菜食を求める同調圧力も。

39

参考文献

- 高津茂. 2010. 「チャン・ダオ・クワン(Tran Đạo Quang) とカオ・ダイ・ミン・チョン・ダオ(Cao Dai Minh Chon Dao) の形成過程」『アジア文化研究所研究年報』45: 110-116.
- 高津茂. 2020 「カオダイ教団創設期（1926年）のお告げとその解析－大道三期普度教団の創設」『アジア文化研究所研究年報』55: 57-77.
- 武内房司（編）. 2021『中国近代の民衆宗教と東南アジア』研文出版.
- Gobron, Gabriel. 1949. *Le Caodaïsme en Images*. Delvy.

カオダイ教団文献

- Đức Nguyên(soạn). 2000. *Cao Đài Tự Điển*. (『カオダイ辞典』)
- Nguyễn Văn Hồng(soạn). 2002. *Thánh Ngôn Sứ Tập*. (『聖言収蔵』)
- Nguyễn Văn Hồng(soạn). 2004. *Bước Đầu Học Đạo*. (『カオダイ教入門』)
- Hội Thánh. 1972. *Thánh Ngôn Hiệp Tuyển*. (『聖言合選』)
- Hương Hiếu. 1995. *Đạo Sử*. (『カオダイ教史』)

40